

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
1	普通	キャリア	家庭総合	2	石田
担当者(担当クラス)		石田(1-5・1-6)			
この科目を履修するための条件や準備					
日頃から生活に関心を持ち、より良い暮らし方について考え、行動する。 教科書・ワークノートを用意する。					
この科目のねらい 目標					
人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭生活の充実と向上をはかる能力と実践的な態度を身につける。					
具体的な指導方法					
授業終了時にノート・プリントをチェックする。 年に3回ほど調理実習を行い、知識や技術を習得させる。					
使用教材					
使用する教科書			使用する副読本		
2 東京書籍 家庭総合 307			学習ノート(教科書準拠)		
評価方法					
定期考査、提出物、学習態度、出席日数によって総合的に評価する。					
年間授業計画					
I. 1 学期中間考査まで					
教科書 P135～148 1節 食生活の課題について考える。					
2節 食事と栄養・食品					
3節 食生活の安全と衛生 →4.5 月の課題及び 1 学期末考査後の補充授業で対応					
II. 1 学期期末考査まで					
教科書 P150～181 4節 生涯の健康を見通した食事計画					
5節 調理の基礎					
6節 食生活の文化と知恵 7節 これからの食生活					
III. 2 学期中間考査まで					
教科書 P100～116 1節 職業生活を設計する					
2節 計画的に使う					
3節 国民経済・国際経済と家庭の経済生活					
4節 現代の消費社会					
IV. 2 学期期末考査まで					
教科書 P118～124 5節 消費者の権利と責任					
6節 これからの消費生活と環境					
教科書 P184～196 1節 被服の役割を考える 2節 被服を入手する					
V. 学年末考査まで					
教科書 P222～243 1節 住生活について考える 2節 住生活の計画と選択					
3節 住生活の文化と知恵 4節 これからの住生活					